

まごころ茨木

2022

Vol. 3

7 July

特集

循環器内科、整形外科、脳神経外科

新しく常勤医師が着任、充実する診療体制に

ご期待ください

新任医師紹介
診療所のご紹介
栄養課だより
INFORMATION



新しく常勤医師が着任、 充実する診療体制にご期待ください

4月から、循環器内科、整形外科、脳神経外科に常勤医師が新たに着任しました。専門性を活かした診療体制や、着任にあたっての思いを語っていただきました。

循環器内科

緊急を要する循環器疾患が 24時間365日受け入れ可能に

高槻みどりヶ丘病院と連携し、 より充実した診療を

循環器内科では、狭心症、心筋梗塞、心不全、下肢閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤など、心臓と血管に関わる疾患を扱っています。主に虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)と心不全で、私の専門とするところです。4月から私と馬庭医師が高槻みどりヶ丘病院より当院に着任し、診療体制の充実に取り組んでいます。

なかでも力を入れているのが救急医療です。緊急対応を要する循環器疾患は、早く治療すれば早いほど、救命や治療予後の改善に良いというエビデンスがあります。これまで虚血性心疾患や重症の心不全に対しては高度な救急医療が可能な医療機関に搬送していましたが、当院で24時間365日受け入れが可能となりました。

なお、当院で入院治療が困難な場合は、祐生会グループとして高槻みどりヶ丘病院と連携し、治療します。

循環器内科 部長

田川 庄督

Shotoku Tagawa

日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本心臓リハビリテーション学会
心臓リハビリテーション指導士



最新機器の導入で高度な治療を行う

診療環境も充実しています。2021年10月に循環器疾患・脳外科疾患の検査ができる最新のアンギオ装置を導入。心臓の動きを補助する大動脈バルーンポンピング(IABP)装置と、心臓と肺の両方の機能を補助する経皮的人工心肺(PCPS)装置も整え、高度なカテーテル治療が可能になっています。

さらに、ペースメーカー植え込み術も行っています。心臓は拡張と収縮を繰り返して全身に血液を送っています。極端に脈が遅くなると失神や心不全を起こすため、心臓の働きを助けるペースメーカーを体に埋め込む手術を行っています。

受診しやすく、顔の見える診療をめざす

循環器疾患の予防には、まずは健診が大事です。症状が出る前に兆候に気づき、早期に食生活や運動などの生活習慣を改善することが重要です。地域の開業医の先生とも連携し、患者さんが受診しやすい環境を整え、しっかりと説明を行い、安心安全で、顔の見える診療に努めます。

将来的には、運動療法による早期社会復帰・再

発予防をめざす「心臓リハビリテーション」や、「心不全の緩和医療」、心疾患の正しい知識や緊急時の対応などを説明する「心臓教室」にも取り組みたいと考えています。

日本人の死因第2位は心疾患、 原因と予防法を解説

血液がいきわたらずに起こる心疾患

先にお話ししたように、循環器内科では心臓や血管の疾患を診ていますが、心疾患は日本人の死因の第2位(厚生労働省「令和2年人口動態統計(確定数)の概況」)で、右肩上がりに上昇しています。原因や予防法を知っていただき、気になる症状や相談があれば受診していただくことをおすすめします。

狭心症と心筋梗塞は、心臓に酸素と栄養分を運ぶ冠動脈が詰まって起こる疾患です。狭心症は血管がゆっくり狭まり、血液の流れが悪くなります。一方の心筋梗塞は、急に血管が詰まって血液が流れなくなり、心臓を動かしている筋肉が壊死します。また、心不全は、全身に血液を送り出す心臓のポンプ機能が徐々に悪くなる状態です。

予防するには、いずれも動脈硬化にならないことが大事です。脂質、塩分、糖質を控え、栄養バランスの良い食事をし、ストレスを避け、適度な運動を心掛けてください。

足のだるさやむくみにも要注意

足の血管の疾患も要注意です。歩行中にふくらはぎの痛みやだるさを感じる下肢閉塞性動脈硬化症は、動脈硬化により足への血流が悪くなって起こります。普段あまり歩かない方や糖尿病の方は、それらの症状に気づきにくいので、特に注意が必要です。予防するには健診や、普段から歩いて適度な運動をすることが大事です。

これまで説明した疾患は、心臓や足の動脈に関わるものですが、足のふくらはぎなどにポコポコと血管が膨れてくる下肢静脈瘤は、足の静脈の疾患です。静脈の弁が壊れ、血管内に血液がたまることで膨れや足のむくみ、ひどくなると潰瘍が



できます。立ち仕事や肥満、喫煙をされる方が発症しやすい傾向にあります。

これらの疾患に関しても当院で専門の治療を受けていただくことが可能となりました。

カテーテル治療で対応

当院では、循環器疾患の発症・進行を防ぐため、薬物治療や生活習慣改善の指導を行っています。狭心症、心筋梗塞、足の血管の疾患になった場合は、ほとんどはカテーテル治療で対応できます。昨年10月に最新のアンギオ装置を導入し、血管内に造影剤を注入し、血管の狭窄や詰まりなどを見ながら、カテーテルという細い管を血管内で使用して治療ができるようになりました。また、私も含め、カテーテル治療を行う医師と、サポートするコメディカルスタッフも強化されています。茨木市を中心に周辺地域の方々の治療を当院で完結できるようにしたいと考えています。

循環器内科 部長

馬庭 直樹

Naoki Maniwa

日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本心臓リハビリテーション学会
心臓リハビリテーション指導士
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本脈管学会脈管専門医
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター
日本循環器学会認定循環器専門医



整形外科

外傷全般から、膝、脊椎、股関節の専門医療を行う

II スペシャリストと連携して治療

整形外科の部長として4月から勤務しています。私以外に、内田医師と鳥田医師も常勤医師として着任しました。

これまで勤めていた大学病院ではリウマチを専門にしていたのですが、当院ではリウマチ科は菅野医師が担当しておりますので、私は整形外科の治療に専念しています。当科はさまざまな疾患のスペシャリストが非常勤医師として来られ、連携しながら、患者さんにとってより良い治療を行えるように取り組んでいます。

II 疾患別に対応可能

主な対象は、切創、挫創などのケガや、打撲、捻挫、骨折といった外傷全般をはじめ、膝、脊椎、股関節などの疾患です。薬や注射、リハビリテーションなどの治療を行うほか、重症の場合などに手術治療を行っています。

例えば、変形性膝関節症は、関節のクッションである軟骨が加齢や筋肉量の低下などによりすり減って変形し、痛みが生じる疾患です。外来水曜日担当の加茂医師が専門医で、症状が進行している

場合は、患者さんの関節を人工関節に置き換える手術や、患者さんの関節は残したまま膝の角

整形外科 部長

千原 一久

Kazuhisa Chihara

日本整形外科学会整形外科専門医
医学博士

度を矯正する手術を行っています。

また、首や腰の痛み、手足のしびれなどが生じる腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症などの疾患は、背骨の変性が原因で起こります。症状が進行しているときは手術を行います。外来水曜日担当の朴医師が経験豊富で、術後に麻痺を起こさないよう神経刺激装置で患者さんの神経症状の変化を観察しながら安全に行っています。



外傷についても、難しい症例は、手術のサポートで来ていただいている鈴木医師がスペシャリストですので、連携して治療しています。

さらに、骨粗しょう症による骨折を予防するためには、骨の強さや状態を把握することが重要です。当院には低被ばくのX線写真を使用し正確に測定できる機器がありますので、気軽に検査を受けていただくことができます。

II 治療からリハビリテーションまでケア

外傷や手術によって身体機能が低下した患者さんにとって、自宅に戻って少しでも元の生活に近づくにはリハビリテーションが欠かせません。2022年7月から回復期リハビリテーション病棟が稼働しました。当院で治療・手術からリハビリテーションまで継続して受けていただけるようになり、安心して退院していただけます。

これからの整形外科としてまず目指すのは、患者さん一人ひとりにしっかり対応することです。些細なことでもなんでもご相談ください。将来的には、人工関節センター、脊椎センターなど専門医による最適な治療を提供できる施設を立ち上げていければと考えています。

脳神経外科

治療からリハビリまで一貫して地域ぐるみの総合力で取り組む脳卒中センターの開設をめざす

II 脳神経外科医としての思い、専門について

私が主に脳卒中治療に携わるようになったのは、神戸市立中央市民病院（現：神戸市立医療センター中央市民病院）で研修中、救急部に所属していた際に阪神淡路大震災での災害医療を経験したことがきっかけとなっています。災害では突発的な事象で人生が変わってしまいます。先ほどまで元気だった人が病院に運ばれ、運命が変わる。しかも時間との戦いでもあります。現在も震災での体験を根幹とし、脳の中の災害医療である脳卒中診療に尽力しています。脳卒中に関連する内科治療や通常の脳神経外科手術はもちろんのこと、先進的なカテーテルを用いた血管内治療や、脳内出血の内視鏡治療も専門としています。

II 脳神経外科医としての経歴

過去の複数の赴任先でも、先進的な治療の導入の仕事をしてきました。大学病院での勤務後、公的病院でのカテーテル治療の専門医教育を行ったり、地域の脳卒中搬送病院をより先進的な脳卒中センターにしてきました。私自身も血管内治療の指導医の資格や複数の技術認定を取得し、つねに新しい脳卒中治療を提供できるようにキャリアを積んできています。

II 茨木みどりヶ丘病院の脳神経外科について

茨木市全体を見てみると、脳卒中患者を受け入れる病院が少なく、高槻市や吹田市まで運ばれる例が多いです。当院でも脳神経外科手術に対応できていませんでした。そのため、地域内で高度な脳神経外科手術を提供できるような基盤づくり

に着手しています。近い将来に脳卒中センターにおいて、この地域で脳卒中治療を完結できる体制を築きたいと思っています。



II 脳卒中治療後、回復期リハビリテーション病棟との連携

急性期治療からリハビリまで一貫して行うため今年7月に回復期リハビリテーション病棟が稼働いたしました。脳卒中では発症後3ヵ月間は機能回復曲線が大幅に上昇し、以降は回復が見込みにくい時期となります。つまり3ヵ月間のリハビリが非常に重要です。多くの施設では急性期と回復期リハビリは異なる医療機関が担当しますが、当院では回復期リハビリテーション病棟の稼働により、ひとつの病院内でのトータルケアが可能となりました。また、「回復と予防に総合力で取り組む」をモットーに、看護師、セラピスト、地域連携室など院内のみならず、地域の開業医の先生方も密に連携し、地域の中に必要な脳卒中センターの開設をめざしたいと思っています。

脳神経外科
脳卒中センター
センター長

中澤 和智

Kazutomo Nakazawa

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本脳神経血管内治療学会脳神経血管内治療認定医・指導医
日本神経内視鏡学会技術認定医
日本脳卒中学会脳卒中専門医

新任医師紹介

循環器内科 部長

馬庭 直樹 Naoki Maniwa

日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本心臓リハビリテーション学会
心臓リハビリテーション指導士
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本脈管学会脈管専門医
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター
日本循環器学会認定循環器専門医



皆様こんにちは。私は大学病院や国立循環器病研究センターなどの勤務を経て、本年4月より当院にて勤務させていただいております。「最近動く息切れがしたり、胸に違和感がある」などは、心臓病の兆候かもしれません。また、症状がない方でも血圧や血糖値、コレステロールの値が高いまま放っておくと、将来心臓病にかかってしまうリスクが上がってしまいます。皆様が健康で長生きできるお手伝いをさせていただければと思います。

脳神経外科

脳卒中センター センター長

中澤 和智 Kazutomo Nakazawa

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本脳神経血管内治療学会
脳神経血管内治療認定医・指導医
日本神経内視鏡学会技術認定医
日本脳卒中学会脳卒中専門医



脳神経外科全般の診療を担当しますが、特に脳血管が得意分野です。内科的治療、開頭手術、血管内治療、神経内視鏡治療などに長い間取り組んできました。脳神経疾患では、急に手足や言葉が不自由になる脳卒中や偶然発見された未破裂脳動脈、頸動脈狭窄、脳動脈瘤や動脈硬化などで悩んでいる方も多数おられます。時代にあった医療を今までの経験をもとに提供し、患者さんが良い選択をできるようお手伝いをさせていただきます。脳の病気で迷われることがあればご相談ください。一人でも多くの患者さんを幸せにしたいという気持ちで診療させていただきます。

内科

岩本 龍哉 Ryuya Iwamoto

日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会糖尿病専門医
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医



4月に赴任してまいりました岩本龍哉です。大学卒業後、糖尿病・内分泌代謝疾患を中心に住友病院や阪大病院で診療を行ってまいりました。茨木みどりヶ丘病院では、専門である糖尿病・内分泌代謝疾患に加え一般内科も担当しますのでお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

整形外科 部長

千原 一久 Kazuhisa Chihara

日本整形外科学会整形外科専門医



4月より赴任してまいりました整形外科の千原と申します。これまでは関西医科大学香里病院にて診療を行ってまいりました。一般整形外科疾患を中心に診察させていただいております。丁寧でわかりやすい説明を心掛けたいと思います。よろしくお願いいたします。

循環器内科 部長

田川 庄督 Shotoku Tagawa

日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本心臓リハビリテーション学会
心臓リハビリテーション指導士



4月より茨木みどりヶ丘病院に勤務しています循環器内科医の田川庄督です。循環器の診療内容としては、一般循環器内科に加え冠動脈および下肢動脈に対するカテーテル治療、またペースメーカーの植え込みを行っています。循環器の患者さんやクリニックの先生方、救急隊の方々の受け皿になれるように精進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

麻酔科 部長

荒木 和邦 Kazukuni Araki

日本麻酔科学会麻酔科指導医
日本専門医機構認定麻酔科専門医
麻酔科標榜医



4月より勤務させていただいております。患者さんに安心してもらえる麻酔を安全に行うよう努めたいと思います。麻酔科が常勤医一人でできることに制約はありますが、その分、小回りの良さを感じていただけるように心掛けていきたいと思っています。

整形外科

内田 沙百合 Sayuri Uchida

4月より勤務させていただいております整形外科の内田沙百合と申します。整形外科疾患は、運動器の疾患であることから日常生活のQOLに影響を及ぼします。少しでも気になる症状があれば、気軽にご相談ください。誠心誠意取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

診療所のご紹介

当院では地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院と共に地域の医療を支える「医療連携協力機関」をご紹介します。

しおみ整形外科 痛み・関節クリニック

立命館大学大阪いばらきキャンパス向かい、ピエラ茨木新中条のメディカルモールにある「しおみ整形外科 痛み・関節クリニック」。患者さんの「痛み」に向き合う塩見俊行院長に、かかりつけ医としての思いをおうかがいしました。

●しおみ整形外科 痛み・関節クリニック開院のきっかけは？

大阪大学の医学部を2002(平成14)年に卒業し、多くの病院で経験を積んできました。その中で、手術をするまでもないが痛みを抱えているという方が多く、その痛みを和らげたり、予防できることがあるのではないかという思いから、学生時代・勤務医時代合わせて10年以上住み馴染みがあった茨木市の地域医療に貢献したく、この地で開院しました。

●専門分野について

専門は人工股関節や膝関節です。専門医として培った実績と経験を活かし、日常生活に支障をきたす様々な痛みに対して、主に保存治療・リハビリテーションを行っています。

●骨粗しょう症について

骨粗しょう症は目に見えず進行します。骨折してから病気が分かることが多いのですが、未然に防ぐために50歳前後の方には検査(先端的な機器での計測と血液検査)をお勧めしています。その結果を見て、患者さんと相談しながら治療方法をご提案しています。

●メッセージ

痛みは、生活の質(QOL)を著しく低下させます。皆様が毎日を笑顔で過ごせるよう、地域のクリニックとして痛みを和らげるお手伝いをさせていただければと思っています。一緒に相談しながら治療法をご提案していきますので、気軽にご相談ください。

住所 〒567-0872 大阪府茨木市新中条町1-30 ピエラ茨木新中条 2F TEL.072-631-6580

URL <https://shiomclinic.com/>

診療時間 9:00~12:30、16:00~18:30

休診日 木曜日・土曜日の午後および日曜日・祝日



院長 塩見 俊行



栄養課 だより

土用の丑の日に食べよう!! 鰻料理で夏バテ防止!

「土用」とは五行思想に基づく季節の変わり目を意味する雑節で四季の四立(立春・立夏・立秋・立冬)の直前の約18日間を指し、年に平均6.09日あります。一般には、夏の土用の丑の日のことを、単に「土用丑の日」と言うことが多いようです。土用の丑の日(※)に、栄養価の高い鰻を食べて、夏の暑い時期を乗り越えましょう！
鰻料理には、蒲焼き・鰻丼・う巻き(卵焼きに鰻を入れて焼く)・うざく(胡瓜の酢の物の上に鰻の蒲焼きを刻んだものをのせるか混ぜ込む)・鰻とゴボウの卵とじ(鰻とゴボウを炊いて卵でとじる)等がありますが、基本的には蒲焼きを使用し、他の食材とあわせるスタイルが多いようです。鰻にはビタミンB2・ビタミンD・ビタミンE等のビタミンが豊富で、DHA・EPA、抗酸化作用がある脂肪が多く含まれていますので、夏バテ防止にもつながります。是非作ってみてください!!

※2022年は7月23日と8月4日の2回あります。



う巻き <材料>

鰻の蒲焼き…1/2尾 蒲焼きのたれ…小さじ2 卵…4個

●割り下

だし汁(鯉や昆布で取ったもの)…大さじ6 酒…小さじ1 みりん…小さじ1 醤油…小さじ1 塩…少々 サラダ油…少々

<作り方>

- ①鰻の蒲焼きに蒲焼きのたれを薄く塗り、1分程焼く。
- ②鰻の蒲焼きを食べやすい大きさに刻む。
- ③ボウルに卵を溶きほぐし、割り下・塩を混ぜる。
- ④卵焼き用のフライパンにサラダ油を塗り、中火で熱し③を流し込む。
- ⑤刻んだ鰻の蒲焼きを奥にのせ、手前に巻き込み卵焼きを作る。
- ⑥程よい大きさの卵焼きができたなら粗熱をとり完成。

INFORMATION

茨木みどりヶ丘病院小児科について

2022年4月より、茨木みどりヶ丘病院小児科診療枠を月・火・水・金・土曜日の5日間に拡充し、地域の方々に貢献できるように外来体制の強化を図りました。



入院患者さんへご提供するお米が変わりました

みどりヶ丘ヘルスケアグループでは、入院患者さんに美味しいお米を召し上がっていただきたい、体に健康なものをご提供したいという思いから、お米を金芽米へ変更しました。金芽米とは、「金芽」と「亜糊粉層」(*)を残した美味しいお米で、自然免疫力の活性化や低糖質・低カロリーなどのメリットがあります。



※金芽:胚芽の舌触りの良くない部分を除いた基底部
亜糊粉層:ヌカ層と白米の境目にある栄養と旨味成分が含まれている層

ハラスメント講習を行いました

ハラスメントとは、意識的・無意識的に特定・不特定を問わず不快な思いをさせる・苦痛を与える・居心地の悪さを感じさせる行為を指します。ハラスメントを正しく理解し、防ぐため、当院にてハラスメント講習を行いました。役職・職種に関係なく合計80名近いスタッフが参加し、ハラスメントに関する基礎知識を学び、正しい言葉を選んで伝える大切さについてなど、スタッフ間の認識の共有を行いました。



編集後記

たくさんの方々に協力いただき、広報誌『まごころ茨木』7月号を発行することができました。今号の特集はいかがでしたか。今後も茨木みどりヶ丘病院は診療体制強化を進め、皆様により充実した医療をご提供できるようになるかと思えます。本誌を通して、皆様に当院の魅力をお伝えできれば幸いです。


Vol.4は2023年1月頃発行予定です。

 広報誌に関するご意見・ご感想・お問い合わせは
祐生会広報まで

祐生会広報
電話番号 **072-681-5764**

 midori-info@midorigaoka.or.jp



 社会医療法人祐生会
茨木みどりヶ丘病院

〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3丁目2-41

診療受付時間 9:00~12:00(月~土曜日) 18:00~19:30(月・水・金曜日)

休診日 日曜日、祝日、年末年始

時間外診療 24時間365日対応 お問い合わせ:072-622-1515(代表)

